

【事例 1】

平成●●年●月頃、玄関のチャイムが鳴ったことから玄関を開けたところ、見ず知らずの女性が立っていました。私が玄関で対応すると、女性は、業者名や要件を言わずに、「寒いから入らせて」とずうずうしく玄関内に入ってきました。女性は、業者名が印刷された葉書大のチラシを私に手渡し、「高崎スズランの隣にお店がある出張リサイクル買取業者です」と名乗り「ブランドバッグや宝石はありませんか」と尋ねてきました。私はこの時初めて、この女性がリサイクル買取業者だとわかり、帰ってもらおうと思って「ないです」と女性に言いましたが、女性は帰ろうとせず、持参したビニール袋に入った貴金属を見せながら「この様なイミテーションでもよいですからないですか」と言ってきました。私は再度「ないです。」と断りましたが、その後も勧誘が続き、再度「売る物はありません」と言うと、女性は渋々帰って行きました。

【事例 2】

平成●●年●月頃、認知症の母が誰か来訪者を入れたらしく、玄関には女性が立っていました。母から後で聞いた話では、女性は何も説明せず、自分から名乗りもしないで、いきなり入ってきて、「何か売るものはないか」と話してきたようです。

女性は、更にしつこく母に話していたので、2階から見ていた妻が見かねて助けに行き、女性に「母は認知症で売るものは何もない」と説明しましたが、その社員は、「あなたに話し掛けているのではない。あなたに関係ない」と妻を無視するような態度を取りました。何度も妻が「帰ってくれ」と言ったのに、その女性は結局帰ってくれませんでした。妻は、なかなか女性が帰ってくれなかったので、2階にいた私のところに来て、「私が話しても帰らないから、お願い」と助けを求めてきました。

私が1階に降り、女性に「売るものはない、帰って下さい」と話しましたが、女性は、「いや、大丈夫です」と私を無視して、母の時計を査定しました。更に「帰ってほしい」と告げたところ、業者の名前が印刷されたチラシを渡し、やっと帰って行きました。

【事例 3】

平成●●年●月頃、玄関のインターフォンが鳴りました。私の家は塀があって門扉の前にインターフォンがあり、ほぼ全ての訪問販売業者は門扉前のインターフォンを使うので、玄関の

インターフォンが鳴ったことから知人が来たと思って玄関を開けると、見知らぬ男性が立っていました。

男性は名前も店名も名乗らず、ジップロック入りのテレフォンカードの束を私に見せて、「テレフォンカードはありませんか」と話し掛けてきました。直ぐに買い取り業者だとわかった私は、断りも無く勝手に門扉を開けて入ってきた業者に対して不審を覚えながら、はっきりと「ありません」と断りましたが、男性は全く聞く耳を持たず、ショルダーバッグからジップロックに入った眼鏡フレームを取り出し、「不要品等何でも買い取ります」等と勧誘を続けてきました。

一度断ったのに勧誘を続けるなんて、なんてしつこい業者だろうと思いつつ、「あるかもしれないけど、何処かで処分します」「あなたに売るものはありません」などと、はっきり断ったのですが、男性は粘り強く勧誘を続け、更にショルダーバッグから、ネックレスのような貴金属類を取り出し、「こういう物はありませんか」と、今度は貴金属類の勧誘をしてきました。私が、「ありません」と断りながら玄関の引き戸をゆっくり閉めようとしたところ、その隙間から業者の名前が印刷されたチラシを渡されました。

【事例4】

平成●●年●月頃、居間でテレビを見ていると、インターフォンが鳴りました。玄関先に出ると、見知らぬ男性が、「貴金属等の不要品はありませんか。リサイクルで売るので何かあれば出してもらえませんか。貴金属でなくても構いません」と会社名も名前も名乗らず貴金属買取の勧誘をしてきました。私は、何も売るものはないので「何もないです」と断ると、男性はあきらめずに「雑誌やカメラ、時計、テレフォンカード等、何でもいいので要らないものを出してください」としつこく勧誘をしてきました。一度断ったのに再度勧誘をしてきたことから、何か売らないと帰ってくれそうもない雰囲気だったので、仕方なく何か売るものは無いか考えたところ、今はあまり使っていないネックレスの束を思い出しました。何本あるかわからなかったので、ネックレスの束を男性に渡すと「他にテレフォンカード等はありませんか」とさらに勧誘してきたので、これしか無いことを告げました。男性は何かの用紙を書いた後に私に10円を渡し、ビラと一緒に書いた用紙を置いて行きました。

男性が書いた用紙は、「買取承諾書兼領収書」で、「ハッピーギフト高崎、運営会社株式会社セブセンス担当A」と書いてありましたが、本来であれば私が書くはずの住所・氏名の欄が既に書かれていたり、渡したネックレスの本数が書かれていなかったり、ネックレスの特徴も詳細に記載されていないなどの、不備な書面を渡されました。

さらに男性からは、物品の引渡しを拒むことができる旨の説明は受けませんでした。